

座頭市物語 (1962)

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 B&W
時間 96分
初公開日 1962/04/18
映倫 PG12

【解説】

勝新太郎が盲目のヤクザを演じて大ヒットし、合計26作品が製作された「座頭市」シリーズの記念すべき第一弾。原作は子母沢寛の随筆集『ふところ手帖』に収録された短編『座頭市物語』で、これを犬塚稔が脚色し三隅研次が監督した。勝新太郎と天知茂の名演技、伊福部昭の音楽など、見どころが満載。

貸元の助五郎は居合拔きの腕前を見込み、坊主で盲目の座頭市を食客として迎え入れた。市は結核に冒された平手造酒という浪人と知り合うが、彼は助五郎のライバル笹川親分の食客となってしまう。二人は酒を酌み交わしながら、ヤクザの喧嘩で斬り合うのはごめんだなどと話した。助五郎たちと笹川一家の緊張が高まる中、造酒が血を吐いて倒れてしまう。

【クレジット】

監督 三隅研次
企画 久保寺生郎
原作 子母沢寛
脚本 犬塚稔
撮影 牧浦地志
美術 内藤昭
編集 菅沼完二
音楽 伊福部昭
助監督 国原俊明
出演 勝新太郎 座頭市
万里昌代 おたね
島田竜三 笹川繁造
三田村元 松岸の半次
天知茂 平手造酒
真城千都世 半次女房お芳
毛利郁子 繁造女房お豊
南道郎 飯岡乾分蓼吉
柳永二郎 飯岡助五郎
千葉敏郎 飯岡乾分政吉
守田学 飯岡乾分清助
舟木洋一 笹川乾分与五郎
市川謹也 笹川乾分茂吉
尾上栄五郎 笹川乾分利兵衛
山路義人 蓼吉の父弥平

堀北幸夫	笹川乾分金治
福井隆次	飯岡乾分大八
菊野昌代士	車の人足
越川一	百姓男
志賀明	壺振り
浜田雅史	飯岡乾分安七
愛原光一	後押し
西岡弘善	飯岡乾分為造
木村玄	客の正六
千石泰三	笹川乾分伊七
谷口昇	笹川乾分友蔵
細谷新吾	飯岡乾分音七
長岡三郎	西光寺住職瑞善
馬場勝義	飯岡乾分羽子造
結城要	飯岡乾分磯次
淡波圭子	お咲
小林加奈枝	笹川飯炊お兼